

越前和紙 – 伝統と創造 –

実施日：令和元年10月17日～21日 於：ポーランド（ワルシャワ）、アラブ首長国連邦（ドバイ）

■ 派遣専門家



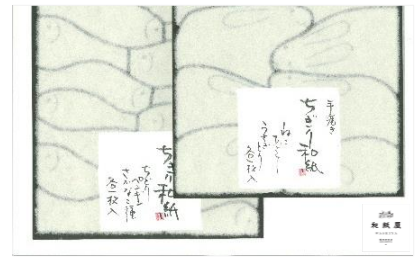
杉原 吉直
株式会社杉原商店 代表

明治4年に創業した福井県の老舗越前和紙問屋「杉原商店」の10代目。「和紙ソムリエ」として、越前和紙の普及に取り組んでいる。伝統的な和紙の活用の領域を拡げ、現代のライフスタイルに合わせた和紙製品の開発や、建材やインテリア、芸術を含めた、和紙の多様な用途を国内外に提唱している。海外の展示会にも積極的に出展し、和紙の可能性と魅力を発信している。

■ 事業概要



講演



ちぎり和紙



和紙製品の展示



■ 実施結果

優れた技を持つ職人によって1500年連綿と技術が受け継がれてきた越前和紙を扱う杉原さんが、ポーランドとアラブ首長国連邦を訪問しました。ポーランドでは美術学校、ドバイでは大学及びアートギャラリーをそれぞれ会場に、越前和紙について講演。越前和紙の歴史、和紙の繊維間の空気層が醸し出す温もりと立体感、薄く滑らかながら強度と耐久性に優れた越前和紙の特性を、展示を交えて解説しました。さらに、伝統的な紙の用途に留まらない具体的な事例として、有名ホテルやレストラン等で使われる照明器具や壁紙、デコレーションなどのインテリア、欧米のアーティストの間で高まる和紙需要等を紹介。和紙の広がる可能性を発信することができました。各会場では一般の人々に加え、美術、デザイン、建築の各関係者や学生らから熱心な質問が相次ぎ、活発な意見交換が行われました。事後、現地の一部販売店業者から和紙製品を扱いたいとの相談も寄せられました。